

平成14年度小学校 Joyful English Learning Practice Example

小学校名	飛騨地区小学校	対象学年	第4学年	実施時期	1月
題 材 名	天気				
主な表現 補助資料	<ul style="list-style-type: none"> ・表現 How's the weather <u>in</u> Japan? It's sunny. 本時 "in" を新しく導入する。 ・語句 (天気) sunny, cloudy, rainy, snowy, stormy, windy (国) Japan, France, Australia, Canada, America, Jamaica, Brazil, Kenya, Turkey, Italy, etc. ・補助資料 天気が絵で表してあるフラッシュカード 世界各国の天気地図 国旗カード(一人一か国とし児童数以上準備する), 別に教師用一組 ・補助教具 電話機2台 				
本時の目標	電話をかける活動を通して、天気を尋ねたり、知らせたりする表現に親しむ。				
学 習 活 動	教師の指導・援助	留 意 点			
<p>1. ハロータイム H: What time is it? S: It's "Hello Time".</p> <p>・始まりの挨拶をする。 T: Hello, everyone. S: Hello, ~. T: How are you today? S: I'm fine. And you? T: I'm hungry. (etc.)</p> <p>2. ウォーミングアップタイム H: What time is it? 以下 S: It's "Warming-up Time". 同様</p> <p>・課題を確認する。 電話ゲームで、世界の天気を伝えよう</p> <p>・天気を表す言葉を復習する。 ・国名の復習をする。 先生の口元に注意を払い、発音をする。</p> <p>3. スキットタイム H-S 対話 ・今日の対話「国際電話で相手の国の天気を尋ねる」を聞く。 ・A, J それぞれに続いて発音する。 「~(国)の天気は」と尋ねるとき "in" を使うことを知る。 ・繰り返し、発音する。 ・数人のボランティアでスキットを繰り返し行い、本時の学習内容をより明確にする。</p> <p>4. チャレンジタイム H-S 対話 ・お天気電話ゲームをする。 音楽がなっている間、電話機を時計回りに回し、音楽が止まったときに電話機を持っていた人同士が、国際電話をかける。</p> <p>5. グッバイタイム H-S 対話 ・元気よく終わりの挨拶をする。 A: Good-bye, everyone. S: Good-bye, ~. (J, H も同様)</p>	<p style="text-align: center;">[A: ALT, J: JTE, H: HRT]</p> <p>・A, J, H の順に児童の表情を見ながら挨拶をする。</p> <p>・H は世界地図を黒板に貼る。 ・A は天気・国旗カードを指し示し、児童の反応を確かめながら口形を明確にして復習を行う。 " We are going to learn about the weather today."</p> <p>・J, H は口の開きなどを確認したり、リピートの時一緒に発音したりする。また、発音に自信がもてない児童を励ます。</p> <p>A: Hello. How are you? J: Hello, A. I'm fine. And you? A: I'm fine, too. How's the weather <u>in</u> Italy? J: It's rainy. How's the weather <u>in</u> Japan? A: It's cloudy. Thank you. Good-bye. J: Good-bye.</p> <p>・A はボランティアで対話にチャレンジする児童を募る。 ・J は、ALT の説明(英語)が理解されていない様子であれば、補足説明をする。 ・A はイスを並べて円を作るように指示する。また、お天気電話の説明も行う。 ・J, H は 児童に国旗を配る。 ・H は 音楽テープを流したり、止めたりする。 ・A, J は、児童の実態に応じて言い方を指導援助していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1 単位時間を5つの指導過程に分け、その日の活動のねらいが無理なく指導できるようにする。 ・児童は自分の体調について一斉に挨拶するが、答え方が一人一人違っていることを認める。 ・挨拶では体の調子だけでなく、日付、天気の様子、曜日、時刻等を A, J, H が他の先生と重ならないように聞く。 ・取り上げた国がわかるように地図にマークを入れ天気を記載しておく。 ・天気を表す言葉は授業開始の挨拶で繰り返し使っているが、ネイティブの口を見て話を聞くように促す。不明確な発音の時は、何度もリピートする。 ・電話機を使い、相手に伝えたい気持ちや、学習への意欲を高める。 ・A 役と J 役に分かれ、何度も発音する。 ・ハロータイムの会話に似ていることに気付くよう、何度も行う。 ・文法を重視せず、楽しく取り組むことを第一とする。 ・耳で聞き、体験を通して英語に親しむことを大切に、黒板にスキットを書かない。(年間通して学習していく中で、英語を身近に感じることができるよう配慮する。) ・毎時間ボランティアでスキットなどに取り組んでいくよう継続して働きかけを行う。 ・指示は、原則としてネイティブが行い、英語に慣れ親しみ、人の話を聞こうとする態度や、分かるようとする態度を育てる。 ・お天気電話の活動時間を20分確保し、どの児童にもチャレンジのチャンスがまわるように音楽のタイミングに気をつける。 ・表情、ジェスチャーを加えて明るく終わる。ex. See you next week.等も時に応じて加える。 			